



# 緊急避妊方法

## 1 緊急避妊ピルを用いた場合

- 一般的な方法は、性交渉から72時間以内に第1回目、さらにその12時間後に第2回目のホルモン剤(緊急避妊ピル)をのみ、排卵を抑制したり、遅らせたり、着床を妨げたりする方法です。着床の成立後では効果がありませんので、これは避妊方法であって中絶法ではありません。
- コンドームの破損などのアクシデントにあったときの緊急避難として有効です。
- 緊急避妊ピルは、人によって悪心や嘔吐などの副作用があります。
- 緊急避妊ピルによる避妊効果は、妊娠確率を4分の1にまで下げることにあります。したがって、用いないより用いた方がよいことを知っておいて下さい。

### (1) 緊急避妊ピルののみ方

性交渉後72時間以内に、  
第1回目(2錠)  
をのむ

\*牛乳と一緒にのんだり、軽く食べ物を口に入れてからのむと、吐き気が抑えられます。

第1回目から12時間後に、  
第2回目(2錠)  
をのむ

\*このときも、できれば牛乳などと一緒にのむと吐き気が抑えられます。